

## ●調査の概要

### 1 調査の目的

横須賀市立小学校及び中学校に在籍する児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、状況を把握する。また、調査結果を集計・分析したものを各学校や各個人へ還元するとともに、横須賀市として必要な健康・体力向上推進に関する施策の策定や、各学校の取り組みの工夫改善に役立てる。

### 2 調査の対象及び内容

#### (1) 児童

##### ① 調査対象者

横須賀市立小学校及び特別支援学校小学部の3～6年生全員

##### ② 調査内容

###### ア 実技に関する調査

〈テスト項目〉

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

###### イ 質問紙調査

#### (2) 生徒

##### ① 調査対象者

横須賀市立中学校及び特別支援学校中学部の1～3年生全員

##### ② 調査内容

〈テスト項目〉

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）  
又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

###### イ 質問紙調査

### 3 調査の実施時期

令和7年4月～7月

### 4 調査の実施状況

		調査対象児童生徒数 (A)	実施児童生徒数 (B)	実施率 (B/A)
小学校	3年生	2,468	2,381	96.5%
	4年生	2,589	2,496	96.4%
	5年生	2,723	2,552	93.7%
	6年生	2,705	2,582	95.5%
中学校	1年生	2,673	2,405	90.0%
	2年生	2,779	2,402	86.4%
	3年生	2,896	2,483	85.7%

## ●調査結果に関する注意事項と説明

- ①本調査の集計・分析において、実技調査、質問紙調査の回答の精査を行い、一部のデータ（実技調査の上限値・下限値からはみ出たデータなど）は集計・分析の対象外としている。
- ②本調査の結果においては、平均値が必ずしも調査結果の全てを表すものではなく、標準偏差などの情報と併せて総合的に結果を分析し、評価することが必要である。
- ③実技調査と質問紙調査のクロス集計に関しては、必ずしも因果関係を示したものでないことに留意する必要がある。
- ④資料に記載している数値は、元の数値を四捨五入して示している。  
 小数第2位で示している数値 → 元の数値の小数第3位を四捨五入  
 小数第1位で示している数値 → 元の数値の小数第2位を四捨五入  
 (例：小学校4年生男子の体力合計点 元の数値「47.8743…」  
 → 47.87 (小数第3位を四捨五入)、47.9 (小数第2位を四捨五入))
- ⑤集計結果における百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ⑥本調査は平成27年度より実施しており、運動習慣や生活習慣等に関する調査内容・選択肢については、スポーツ庁が悉皆で実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（以下、全国調査という。）」を参考に採用している。
- ⑦令和4年度における上記全国調査での調査内容（選択肢）の一部変更に伴い、本市調査においても同様に、令和4年度以降の調査内容（選択肢）を一部変更した。  
※変更した調査内容（選択肢）：「1週間の総運動時間」、「朝食の摂取状況」、「1日の睡眠時間」
- ⑧一部変更した上記調査内容については、選択肢が異なるため、単に令和3年度以前のデータと経年変化等の比較ができない。したがって上記3項目の内容については、令和4年度以降のデータのみを掲載することとする。  
 ※平成27年度～令和3年度のデータについては、参考としてP.66～73に掲載する。

調査項目	平成27年度～令和3年度	令和4年度以降
1週間の総運動時間	0分、60分未満、60分以上120分未満、120分以上、180分未満、180分以上360分未満、360分以上	0分、1分以上60分未満、60分以上420分未満、420分以上
朝食の摂取状況	毎日食べる、時々食べない、毎日食べない	毎日食べる、食べない日もある、食べない日が多い、食べない
1日の睡眠時間	6時間未満、6時間以上8時間未満、8時間以上	6時間未満、6時間以上7時間未満、7時間以上8時間未満、8時間以上9時間未満、9時間以上10時間未満、10時間以上

- ⑨これまで「(2) 運動・スポーツへの意識」として位置付けてきた項目については、今後は、運動・スポーツに対する関心にとどまらず、児童生徒が自身の「健康・体力」を自分事として捉え、それらの価値をどのように認識しているかという観点を重視したい考えから、項目名を「(2) 運動・スポーツや健康・体力への意識」に改める。  
 あわせて、「自分の体力に関心があるか」、「自分の健康に関心があるか」の2つの調査内容を新たに新設することとする。
- ⑩これまで実施してきた「運動やスポーツが好き」「体育・保健体育の授業が楽しい」に関する調査は、毎年度高い水準で推移している一方、個人の嗜好に左右されやすい側面があることから、上記調査内容の見直しに伴い令和6年度をもって終了する。  
 ※平成27年度～令和6年度のデータについては、参考としてP.60～65に掲載する。

用語	解説
標本数	・ 平均値、標準偏差を算出した人数。
平均値	・ 調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和/標本数」
標準偏差	・ 調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 ・ 平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。（いずれも正規分布の場合） 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和/（標本数－1）、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果－平均値」
体力合計点	・ 実技テスト項目における得点の合計